

## 第8回大和川流域委員会 議事概要(暫定版)

開催日時：平成17年10月14日(金)15:00～18:00

場所：大阪厚生年金会館 ウェルシティ大阪7階(フロールAB)

委員出席数：出席12名、欠席5名

### 1. 議事

#### (1) 第7回大和川流域委員会審議報告

第7回大和川流域委員会審議報告がなされた。

#### (2) 委員からの情報提供「治水」、「教育・啓発」

(a) 黒田委員：「大和川クリーンキャンペーンにみる子どもたちの認識の変化について」

「子供が変われば親が変わり、親が変われば地域が変わる。」という合い言葉で、「大和川クリーンキャンペーン」の活動の一環として、20年前より絵と作文、写真、ポスター等の募集を行ってきた。その間の大和川についての子供たちの意識の変化、大和川を好きになっていく子どもたちを絵・ポスター・作文・写真の作品をスライドにて紹介。

(b) 仲川委員「大和川流域の治水について」

圏域分割別に浸水被害を鑑みて、2日間雨量での比較、時間雨量での比較による被害状況整理、内水氾濫、流域の現状などから考えた治水計画についての私案、及びスーパー堤防の推進、亀の瀬狭窄部対策、総合治水対策などの必要性について説明。

#### (3) 質問に対する回答など

河川管理者から「質問に対する回答など」についての説明がなされた。

#### (4) 大和川の「治水」について意見交換

主な意見及び補足説明は以下のとおり。

(a) 空間利用

- ・川と遊ぼうということを住民と一緒に真剣に追求しながら川を見守り、遊べる川辺を点から線に、線から面にしていくということの本気で考えないといけないと思う。

(b) 利水と環境

- ・委員からの説明では、大和川流域の河川環境を保全するために、不足している水を他水系に依存せざるを得ないとあるが、現実問題としてどのくらい可能性があるかと考えるか。
- ・他水系への依存は、現在、県営水道で約50%、農業用水では約60%と聞いているが、支川の上流から少しずつでも水が絶えず流れるよう、冬場における他河川からの分水をお願いしたい。
- ・利水という点では、奈良盆地部における地下水の上手な利用の仕方というのを考えておくべきではないか。

(c) 治水

- ・川というものは洪水があれば氾濫するものだとか、自然は良いものだけど怖い面も持っているということについて、自分も含め日本人全体が最近鈍感になってきていると感じる。防災に関してソフト的な面で、日常的に活動されている委員の考えを知りたい。
- ・台風の時などの初期段階では、自分のところは自分で守るという初期防災をやらなければならない。
- ・統計期間を近年までとした雨量確率計算結果から見ると、雨量の評価が少し小さくなるグンベル分布での評価を現在の計画の基本としているが、そのことに問題はないのか。
- ・もう少し大きな雨量を対象にすべきではないか、雨量の見直しをすべき時期ではないか、という議論はあると考える。色々な手法をとっても200年確率の雨量としては工事実施基本計画の280mmぐらいは出そうだという事を今日は説明した。
- ・亀の瀬の河床が隆起しているというデータから、ある程度工事が完成した時点で亀の瀬の河床を

下げることが必要と考えられるか。

- ・大和川の特徴として中流域の狭窄部の疎通能力を高めることは非常に大事だと考えている。河道をどこまで広げるかについては、上流への効果、下流への影響とその対策、コストと工期などを技術的に検討し、選択肢をしっかりと用意することを考えている。

#### (5) 第1回～第7回の委員会の意見集約例について

- ・それぞれ持ち場のジャンルが違う人間が、みんなの意見を聞きながら考えてきたというプロセスは非常によかった。委員全員がお互いどういう意見を持っているのか、それを知ることを行っていくことが大事だと思う。
- ・河川管理者の方が原案を出して、その当否について流域委員会は検討すると理解していた。集約するという事は、原案をつくるに当たってある一定の施策的なものの集約点を河川管理者に示すことになるのか。
- ・河川整備計画の原案の「たたき台」を河川管理者が出し、我々がそれについていろいろ意見を言うというのが基本的なスタンスと考えている。我々がこれまで議論してきた意見を的確に言うためそれを計る物差しをまとめておくという意味での意見集約である。
- ・河川管理者から出てきたものに、意見を述べさせてもらって、完成させていくのが一番良いと思う。
- ・それぞれの専門分野でのワーキンググループとしてまとめるということよりも、時間はかかるが、専門外のこともみんなで従来やってきた方法でまとめる方向のほうが良いという印象を持っている。
- ・集約といっても、1つのものに絞ってしまうイメージではなく、色々な意見の併記でも良いと思う。この「委員会の意見集約(整理)例」のようなものだけでは、今後いろいろ我々としても扱いに困るのではないかという気がするので、少し整理が必要ではないか。
- ・河川管理者が委員に対して何を求めているのか、また、委員として意見集約がどの範囲まで可能なのかお聞きしたい。
- ・最初から河川整備計画の案を出して議論するのではなくて、これまでいろいろな立場の違う方々から良い意見が寄せられていると思っている。頂いた意見も反映させながら、今後整備計画のたたき台を示したい。整理した意見をもう一度確認して頂き、足りないところ、修正する所を指摘していただければ十分である。
- ・「環境教育・住民啓発」を1つのカテゴリーとしてさらに追加する。
- ・Cプロジェクトの作成に当たっては、一定の施策が出てくると思うが、第10回に骨子を出す時点でCプロジェクトが反映されていくのか。
- ・Cプロジェクト計画は、2010年までに何をやるかという計画であり、20年、30年でやっていく河川整備計画の一部先取りと認識している。大体の構想は、年度内に固めていきたい。

## 2. 現地視察会について

委員へのアンケート結果による視察ポイント、および流域委員会で議論の対象となった箇所を盛り込んだ庶務からの視察ルート(案)で了承された。また、現地視察会は11月22日に開催し、11月25日が予備日であることが報告された。

## 3. その他

第9回流域委員会の日程について、12月中旬開催を目途に、速やかに調整しお知らせすることが報告された。

以上

# 大和川流域委員会「現地視察会」概要報告

開催日時：平成17年11月22日(火) 予備日11月25日(金) 9:30～16:30

場所：大和川直轄管理区間及び指定区間

委員出席数：11月22日(火)；出席9名、11月25日(金)；出席3名

## 1. 現地視察会の概要

各視察ポイントで大和川の現状について河川管理者からの説明及び委員からの情報提供が行われた。また、活発な質疑応答、意見交換が行われた。

## 2. 視察内容



視察ポイント位置図

### ①瀬と淵浄化施設

河川管理者から、瀬と淵浄化施設の目的、機能、水質測定結果から見た浄化効果、生物調査結果、および柏原堰堤の設置目的、魚道の概要、堰堤周辺の河床低下の状況、取水状況について説明がありました。



柏原地区 瀬と淵浄化施設



柏原堰堤



視察状況（11月22日）



視察状況（11月25日）

## ②石川合流点（ヨシの群生）

河川管理者からセイタカヨシの群生状況（位置、種類、面積等）について説明がありました。



石川合流点付近の様子



視察状況（11月22日）



視察状況（11月25日）

### ③石川河川公園

(車窓より視察)

大阪府から大阪府が都市計画公園として整備管理している石川の河川公園、公園整備に併せた護岸整備、治水計画、水環境について説明がありました。



出典：石川あすかプラン 大阪府 パンフレット

---

### ④竹内峠（金剛山系の植生状態）

(車窓より視察)

前迫委員から奈良県の中の植生と対比させながら金剛山系の植生の位置付けについて情報提供がありました。

(竹内街道他)

和田委員から竹内街道や文化財保護法の改正に伴う文化的景観の保全等に関する情報提供がありました。



現地の状況

### ⑤桜井市金屋河川敷公園

車中にて、奈良県から河川公園について、歴史を重視した公園整備の概要について説明がありました。



金屋河川敷公園の様子

和田委員から海石榴市の由来と歴史に配慮した公園整備の基本的な考え方について情報提供がありました。



視察状況（11月22日）



視察状況（11月25日）

### ⑥長谷寺（照葉樹林の様子）

前迫委員から長谷寺対岸の与喜山の照葉樹林について情報提供がありました。



与喜山の全景



視察状況（11月22日）



視察状況（11月25日）

---

⑦初瀬ダム周辺（植生管理の状態）

（車窓より視察）

奈良県から初瀬ダムの工事概要、ダム型式、貯水池容量配分、ダム周辺の自然環境等について説明がありました。



初瀬ダム

前迫委員から初瀬ダム上流部における植生の現況についてコメントがあり、また、奈良県内の林業の実態について情報提供がありました。



初瀬ダム上流部における植生の状況

---

⑧唐古池（溜池）

和田委員から唐古・鍵遺跡の概要、発掘の経緯や絵画土器、土器の絵から再現した楼閣について情報提供がありました。



唐古池



視察状況（11月22日）



視察状況（11月22日）

---

### ⑨御幸橋（富雄川の大和川の合流点）

（車窓より視察）

河川管理者から奈良県御幸橋周辺の支川の合流状況、佐保川合流点の下水処理場の処理、奈良県域での昭和57年8月洪水の被害状況、カワウの問題について説明がありました。

---

### ⑩富雄川の概要

（車窓より視察）

奈良県から大規模自転車の概要、富雄川の整備の概要及び水質の状況、大和郡山市の桜堤モデル事業の概要について説明がありました。

---

### ⑪東生駒川総合浄化施設及び竜田川との合流点

生駒市から東生駒川総合浄化施設の概要について説明がありました。



視察状況（11月22日）



東生駒川総合浄化施設



視察状況（11月22日）



東生駒川総合浄化施設



視察状況（11月25日）

以上